

2021 年度事業報告

特定非営利活動法人兵庫障害者センター

1. 事業の成果

新型コロナウイルス感染症の感染状況によって人数の制限をしたり、電話相談のみとしたこともあって、相談が減少しました。しかし、障害を持つ人とその家族は、福祉度や年金についてなど多くの情報を必要としています。相談のスタッフは、弁護士、社会保険労務士など専門の相談員が、無料で行っているので多くの人たちの支えとなっています。また、平日には電話による相談を受けているので、患者・家族の心のよりどころとなっています。障害者団体の活動を支援する場所としての事務所・会議室の活用も成果があり、団体間の情報交換の場として役立っています。障害者の種別を問わずに行っている支援活動は、多くの人の支えとなっています。

2. 特定非営利活動に関する事業

(1)医療・福祉・教育・生活など暮らしに関する相談助言と支援事業

障害者と家族のために相談を受ける日を、毎月第2土曜日に定例として開催した。

また、電話による相談については、その都度個別に対応している。緊急の相談については、担当者に連絡の上個別に相談を受けた。

日 時	相談者	相談内容	対応者
2021 年 4 月 10 日	障害者と家族 3 名	セクハラ、パワハラ	弁護士、実務者
2021 年 5 月 8 日	障害者と家族 3 名	介護授業所のこと	弁護士、実務者
2021 年 6 月 12 日	障害者と家族 1 名	難病、障害年金の受給	弁護士、社労士
2021 年 7 月 10 日	障害者と家族 1 名	生活保護、病院の対応	弁護士、社労士他
2021 年 8 月 14 日	新型コロナ感染拡大期にあり中止		
2021 年 9 月 11 日	障害者と家族 3 名	生活保護、成年後見人のこと	弁護士、社労士他
2021 年 10 月 9 日	障害者と家族 4 名	障害年金、就労の問題	弁護士、社労士他
2021 年 11 月 13 日	障害者と家族 2 名	介護保険、生活	弁護士、社労士他
2021 年 12 月 11 日	障害者と家族 4 名	地域での生活のこと、	弁護士、社労士他
2022 年 1 月 8 日	障害者と家族 0 名		弁護士、社労士他
2022 年 2 月 12 日	障害者と家族 0 名		弁護士、社労士他
2022 年 3 月 12 日	障害者と家族 2 名	年金、成年後見制度のこと	弁護士、社労士他

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対面での相談を原則中止とした。対面での相談の場合は必要に応じて少人数で行うこととした。

※弁護士 6 名、社会保険労務士 2 名、その他関係者が対応し充実したスタッフとなっている。

(2)医療・福祉・教育・生活など暮らしに関する調査・研究と情報提供、及び各種つどいの開催

1 ひょうご安全の日事業

・ 日 時 2022年1月30日(日)13:00~16:30

・ 会 場 あすてっぷ KOBE セミナー1.2

・ 参加者 会場 5 名 オンライン 90名

いろいろな災害の発生時には、避難の形態にも目を向けて、要配慮者となる人たちのいのちを守るために避難所はどうあるべきか、誰もが助かることのできる社会となるようにとも考えることができた。

講 演 「災害対策基本法」令和 3 年度改正について

神戸大学大学院工学研究科研究員 大西 一嘉氏

講 演 「誰ひとり取り残さない！ 福祉×防災×コミュニティ」

大阪府立特別支援学校 PTA 協議会 OB 会 湯井 恵美子氏

講 演 「災害時要援護者支援に対する神戸市の取組」

神戸市福祉局高齢者支援担当部長 吉村 千波氏

報 告 「福祉避難所等に関する県内自治体アンケート調査について」

人と防災未来センター

主任研究員 木作 尚子氏

主任研究員 コンノ ピニエイロ アベウ タイチ氏

ディスカッション 「障害のある人と防災・みんなの個別避難計画(マイプラン)」

講演、報告を受けてオンライン参加者よりチャットで質問を受けた。今回のパネルディスカッションでは、誰ひとり取り残さない防災という視点で、いろんな立場の方からお話をお聞き、みんなで考えることができました。

※参加者募集の対象が障害者とその家族、施設関係者であるため、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、当初の計画からハイブリッド方式と変更しました。

2 優性保護裁判支援の取り組み

①冊子「国から子どもを作ってはいけないと言われた人たち」 3 増刷

②神戸地方裁判所宛「公正な判決を求める」署名

3 月 22 日(月) 裁判所に第一次集約分提出

③「兵庫訴訟の勝利判決をめざす決起集会」;

7 月 4 日(日)午後、神戸市総合福祉センター第 5 会議室

④第 11 回期日・判決;8 月 3 日(火) 判決

⑤大阪高裁に上告 第 1 回期日はまだ決まっていない

進行協議(2/9)を開く 手話通訳、証人調べの打合せを行う

控訴の理由書の提出、国から答弁書が出てくる

2 月 22 日 大阪裁判・・・ 勝訴

3月11日 東京裁判・・・勝訴

社会的意義、手の届く範囲の取り組みとして、公正判決を求める署名の取り組みを行った。上告断念についての要請行動もおこなった。

最高裁に上告した大阪、東京の裁判、続く地域の裁判に対応するために、全国の支援する会がまとまることが必要とした取り組み。

3.「障害者権利条約」を兵庫でどう活かすのか」学習会

～あたりまえに、生きる、くらす、はたらく、学ぶ権利が守られる社会を～

①「障害者の人権の視点からみる障害者権利条約」

・日時;2021年12月5日(日)13:30～16:00

・会場;神戸市障害者福祉センター

・参加者:会場とオンライン(Zoom)参加のハイブリットで開催

参加者 オンライン 25名 会場 17名

・内容 園部さんが東京から来られて、内容がとてもよく力が入った講演をされた。

弁護士さんのお話もよかった。優生保護法についての学習もしたいという声があった。

②「教育権保障の視点からみる障害者権利条約」学習会

・日時;2022年3月19日(土)13:30～16:00

・会場;神戸市障害者福祉センター会議室 A～C

・参加者: 会場とオンライン(Zoom)で参加のハイブリットで開催

オンライン 25名 会場 17名

・内容 ①「兵庫における教育権保障の歩みとこれからの課題」

講師:河南 勝氏(兵庫障害者センター副理事長、

全国障害者問題研究会兵庫支部顧問)

②「義務制から42年の提言、兵庫の障害児教育これまでとこれから」

講師:市位 葉子氏(前障害児学校教組委員長)

;コメンテーター 赤木 和重氏

(神戸大学准教授、全国障害者問題研究会兵庫支部支部長)

全障研の全国大会のプレ企画とするため合同開催、オンラインで開いた。

障害児者教育の原点となる、取り組みを聞くことができよかった。“青年期の自分づくり”の話はとても希望の持てる呼び名だと感じた。障害児教育の歴史の重みを感じる話でした。重症児にも教育を受ける権利があることを身にもって実践に活かすことができるよう努力したい。。

子どもたちにとって学校が、“希望の場”といえるようになればいいとのコメントがあった。

3 会議報告

① 通常総会の開催

(1)日時 2021年5月15日(土)10:30～11:30

(2)会場 兵庫障害者センター 事務所 ZOOM の併用

神戸市中央区橘通1丁目1-2

(3)表決書提出者 正会員 個人15名中 出席15名 委任状5名

正会員 団体 9団体中 出席 8団体

(4)議 事 2020年度の事業報告と収支報告、監査報告について
2020年度 事業計画と予算の承認

② 理事会の開催

- | | | |
|--------|----------------|----------------|
| 第1回理事会 | 2021年4月21日(水) | オンライン併用 |
| | 17:30~18:30 | 出席者 8名(監事 2名) |
| 第2回理事会 | 2021年5月15日(土) | オンライン併用 |
| | 11:45~12:20 | 出席者 7名 |
| 第3回理事会 | 2021年6月28日(月) | オンライン併用 |
| | 19:00~20:25 | 出席者 8名(監事 1名) |
| 第4回理事会 | 2021年8月20日(金) | オンライン併用 |
| | 19:00~20:20 | 出席者 7名(委任状 1名) |
| 第5回理事会 | 2021年10月8日(金) | |
| | 19:00~20:15 | 出席者 7名(委任状 1名) |
| 第6回理事会 | 2022年11月19日(金) | オンライン併用 |
| | 19:00~20:05 | 出席者 6名(委任状 2名) |
| 第7回理事会 | 2022年1月14日(水) | オンライン併用 |
| | 19:00~20:05 | 出席者 8名 |
| 第8回理事会 | 2022年3月25日(月) | オンライン併用 |
| | 19:00~20:30 | 出席者 8名 |

(2)事務局体制

①事務局長;井上 義治

事務局スタッフ;会計 木村 宏美 庶務 中尾 暁子

②ミーティング

毎週火曜日 10時から1時間程度 週間の予定等打合せ

(3)会員

① 正会員 団体 9団体 個人 16名

② 賛助会員 個人 4名

以上